

破天荒

教宣部

4957号

2013年
9月19日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



秋闘要求提出

— 要求項目を検討し、誠意ある回答を —

9月13日に全竹中労働組合の第40回定期大会を開催し、昨年度の闘いの総括と本年度の運動方針を確認、新役員を選出しました。そして昨日は新体制で秋闘要求を提出、会社の前向きな回答を要請しました。

要求項目

- ・ 破棄された労働協約復活
- ・ 福利厚生行事補助金増額と行事内容・予算
- ・ 厚生年金保険料補助増額 (社会保険料3:7)
- ・ 定年退職金特別加算増額
- ・ 住宅ローン利子補助増額
- ・ 貸付金制度(教育・冠婚葬祭)新設
- ・ 労災・通災の法定外補償一時金増額
- ・ 国内出張旅費関係(日当や宿泊料等の増額)
- ・ 服喪休暇の一部の増日と

- ・ 半日取得制度化
- ・ 出産・妊娠休暇の時間単位取得制度化
- ・ 福利厚生行事補助額算出従業員にパート・嘱託社員を含めること
- ・ 医療費補助金財源基準を竹中グループのプール制にすること

- ・ メンタル不全時の休職扱い、最長3年(new)
- ・ 育児休業規則の看護休暇を有給扱いにすること
- ・ 介護休業規則の介護休暇を有給扱いにすること
- ・ 脳ドック検診の実施
- ・ リフレクシユ休暇の新設
- ・ 休日増(完全週休2日制を目標に実施計画を)
- ・ 年次有給休暇の増日と積立制度の新設
- ・ 裁判員休暇の有給扱い
- ・ 超過労働手当割増率の増
- ・ 定年退職後の再雇用
- ・ 65歳まで全員を雇用
- ・ 賃金の明確化

〈2013年度新役員〉

- | | |
|--------|--------|
| 執行委員長 | 稲岡 幸雄 |
| 副執行委員長 | 杉浦 陽一 |
| 書記長 | 川北 幸輝 |
| 会計 | 川口 喜弘 |
| 執行委員 | 西村 浩一郎 |
| | 福井 晃 |
| 会計監査 | 柳川瀬 忠 |
| | 松林 浩 |



奇跡の折鶴蘭

工場棟と食堂を結ぶ通路の途中、今回の大雨で氾濫した農業用水路がある。

50年に一度くらいの大雨だろうか？環境試験室や更衣室、発送室が泥をかぶり社員総出で掃除した。

自然災害だから不可抗力であったという言い方もできる。しかし日々危機管理を設定して、排水路の掃除、家屋のメンテナンスを愛情を持ちながら手入れしてた

ら、もう少し被害は少なくなっただけかもしれない。

水洗トイレの流す量、換気扇、雨漏り、扉の不具合、どれをとっても総務は「グループセンターに相談します」「グループセンターがやってくれないのでできない」としか言ってくれませ

ん。

この会社は小っちゃいけど大企業やお役所を真似ようとする。机の上で文書

だけで処理しようとする。責任を取りたがらない。

社屋に対する愛情は、そこで毎日作業する人ならあるはずなのだけど、とりあつてくれない会社への諦め感が漂った結果の水害ではないかなあと片付け作業をしながら思った。

用水路にぶら下げた「折鶴蘭」は流されず残っていた。まるで陸前高田の奇跡の一本松のように。

組合運動方針 (一部抜粋)

私たちは、会社の姿勢如何に拘わらず信頼関係のある労使関係が企業発展には不可欠という立場で、交渉に望みます。

会社対応に対しては「労働条件は労使対等の交渉を通じて、労使合意の上で決定する」という当たり前の原則を踏まえ、団体交渉が誠実に開催されるよう要請し、信頼関係のある労使間の再構築と、明るく働き易い職場の確立に向けた運動を展開していきます。

そして何より「組合員の雇用を守り、働く者のいのちと健康を守り、賃金・一時金・労働時間をはじめとした働く者の生活と労働にかかわる諸労働条件の向上」という、労働組合本来の目的に向けた運動を取り組み続けます。



お知らせ

秋闘回答日団交

10月4日(金)